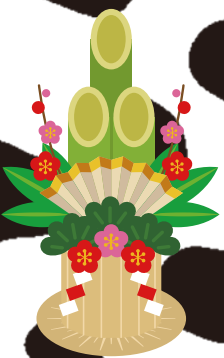


～皆さまにとって輝かしい一年でありますように～

TOPIC

新年のご挨拶
うんな中学校開校式
村県民税等の申告受付について

13 3 2





恩納村長
長浜 善巳

明けましておめでとございます。村民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、村政への温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、未だ終息の兆しが見えない、新型コロナウイルス感染症は、依然として世界中で猛威を振るい、村民の生活や経済社会に甚大な影響を及ぼしております。感染拡大の予防と社会経済活動維持の両立を図るためにも、感染症を終息に向かわせ、一日も早く、平穏な日常生活を取り戻し、この難局を乗り越えるため全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。本村では、新型コロナウイルス感染

症に関する国の施策に基づき、全村民に一律10万円を支給する特別定額給付金の支給をはじめ、村民の生活支援と売り上げが低下した事業者支援などを目的とした、「村独自のコロナ景気回復支援」、「村景気回復支援商品券」を村民一人ひとりに1万円分の商品券の支給を行いました。今後も村民の命と健康を守ることを第一に、感染防止策を徹底したうえで、地域経済活動の回復のための施策を推進してまいります。さて、昨年を振り返ってみますと、令和2年4月、「村立うんな中学校」が新しい歴史の第一歩を踏み出しました。これまでの五つの中学校が築き上げた歴史と伝統は絶えることなく、次世代を担う子どもたちが夢と希望に向かって、多様なことに挑戦し、郷土愛を育み、世界に羽ばたく人材育成に大きな期待を寄せております。また、県内屈指の景勝地「万座毛」においては、駐車場不足をはじめ、周辺道路の渋滞、施設の老朽化が懸念されておりましたが、10月に飲食店や展望台を兼ね備えた施

設として生まれ変わりました。万座毛を整備することで、地域経済の好循環を確かなものとし、本村の地域資源を活かした新たな観光業の振興及び農林水産と商工・観光を立体的に掛け合わせた、魅力ある観光地形成の一助になることを期待するものであります。そのような中、本村では村民一人ひとりが、豊かな自然を守る意識を持って、漁業や観光業を支えるサンゴと海の保全活動に、陸と海が一体となって取り組んでおります。この恩納村の取り組みが、SDGsの理念や方向性等と共通し、持続可能な開発目標の達成に向けた優れた取り組みが評価され、「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現と達成に向け、村民、各種団体、行政による幅広い活動を展開しながら、SDGsの達成に向けた普及・啓発に取り組んでいきます。



うんな中学校開校式

11月28日、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け二度の延期を経て、恩納村立うんな中学校開校式及び恩納村政功労教育功労表彰式が、教育関係者や工事関係者らが参加し行われました。



式典では、又吉薫議長、恩納村名誉村民佐久本嗣男氏、沖縄県教育庁中頭教育事務所長宇栄原道夫氏より祝辞をいただき、宜志富清博校長は「心はひとつ、夢は無限大」をテーマのもと、生徒が主体となる「自律的・協働的・創造的」な学校を目指していきます」と式辞を述べました。また、生徒を代表して當山安恒生徒会長（初代）が「10年後、20年後までも活気ある誇り高い伝統を積み重ね地元から愛される地域と一体化した学校を創っていきます」と力強く堂々と宣言しました。

表彰式では、歴代の教育長へ長浜村長より表彰状が授与されました。



学校給食センターへ 冬瓜の寄贈

11月5日、真栄田区の金城文世さんから子どもたちに食べさせてくださいと、冬瓜60玉（120kg）の寄贈がありました。

早速、もずくのお汁とかきたまみそ汁に使用し、児童生徒へ提供しました。



「サンゴの村宣言」 恩納村の未来を考える 海洋学習～海と共に生きる～

11月17日、うんな中1年生（106名）が「総合的な学習の時間」において、海域と陸域を繋げた環境保全フィールドワークを行いました。事前にOISTガーデニングクラブの皆さんから「循環型農業・コンポストを利用した土づくり」について学んだうえ、午前はコンポストでのシンカレタス栽培実験のほか、ベチパー植付け・赤土対策養蜂見学・蜜源緑肥播種を体験しました。赤土対策において養蜂を普及させていることや、蜜源緑肥をデザインほ場にしたことなどについて農林水産課の説明を理解し、先生と生徒で四苦八苦しながらも、楽しく花の種まき作業をしました。



午後は恩納村漁協の協力で、サンゴ苗作り体験とサンゴ乗船観察を行いました。初めは小さかった苗が時間をかけ、海中で逞しく成長している様子に皆感動した様子でした。一日かけたフィールドワークは、陸と海、両方の環境保全の取組みが繋がっているからこそ、「世界一サンゴにやさしい村」を実感できる体験となり、「SDGs未来都市」恩納村ならではの学習となりました。

《感想：うんな中学校1学年主任 平川直樹》

多くの方々のご理解ご協力によって、今回の海洋学習を実施することができました。初めは「なぜ大人ではなく中学生がサンゴや村の将来について考えるのか」という声も聞こえていましたが、OIST・GODAC・農林水産課・恩納村漁協より、海の現状や村が今後取り組まなければならない課題などの学習を深めていくうち、「私たちができることは何?」「私も村のサンゴを守りたい」という意識が芽生えてきました。

ベチパー植付けでは「どうしたら赤土が流出しないか」試行錯誤して作業を行いました。また、サンゴ苗作りでは「サンゴが大きく育つように」というメッセージを台座に書き込んだり、海流に負けないよう苗をしっかりと固定したりする生徒もいました。

さらに、乗船観察では「サンゴが無いところには魚がいない!」という発見もありました。

今回は、黒板や映像では決して伝えられない「恩納村の未来」を考える素晴らしい体験学習になりました。関係者の皆様にお礼を述べさせていただきます。中学生も恩納村の未来を真剣に考え始めました。これからもうんな中学校を応援していただきたいと思っております。ありがとうございました。



学校支援ボランティア活動報告【稲作プロジェクト】

安富祖小学校では、3年生から6年生までの児童（45名）がお米作りにチャレンジしています。9月に始まったこの稲作プロジェクトでは、当山幸宏さん（安富祖区）指導のもと、これまで苗作りから田植えまでを体験することができました。稲は現在、安富祖区内の田んぼで元気に育っているところです。今後も当山さんのサポートをいただきながら、12月末の収穫を目指して、管理や観察を続けていきます。



学校支援ボランティア大募集中! あなたも参加してみませんか! 恩納村学校支援協働本部（社会教育課内）
できるひとが、できるときに、できることを ☎966-1210（瀬良垣・安永）

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。旧年中は恩納村文化情報センターをご利用いただき、誠にありがとうございました。今年も、暮らしを豊かにする情報を発信できるよう、職員一同力を合わせてまいります。

本年もご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

文化情報センターだより

Vol.111

1月の休館日

1日～4日、12日、13日、18日
25日

21日（資料整理日）

※状況により変更になる場合があります。

1月のおすすめ本



『著名人の切手と手紙』 新垣 千尋 池澤 克就/著

年賀状をきっかけに、懐かしい人との思い出を振り返ったり、元気にしているかな、と思いを馳せたりしている方も多いのではないのでしょうか。手書きの文字には、メールやSNSにはない、その人らしい暖かさがありますよね。本書は画家や作家、俳優等の著名人の手紙や切手から、その人のエピソードや来歴等を紹介しています。手紙から彼らの新たな人物像・魅力に気づくことができるかもしれません。色彩豊かな切手は、見ていただけでも楽しくなってきます。

幸せのおすそわけ!ブックガチャ

12月に来館者の皆さまに「幸せな気持ちになれる本」「新年に読んでほしい本」を選んでもらいました。選ばれたおすすめ本と一緒に、たくさんの方の「幸せを願う気持ち」がガチャカプセルの中につまっています。ご来館の際にはぜひ「ハッピーガチャ」を回してみてください。

日にち 1月5日（火）～なくなり次第終了

～琉歌の村うんな～30音でつづる沖縄

日時 2月14日（日）15:00～17:00

場所 博物館1階研修室

※詳細が決まり次第、ホームページやSNSなどでお知らせします。

本の福袋2021

皆さまの新たな本との出会いを願って、今年も「本の福袋」を行います。

福袋の表に書かれたテーマから、お好みの福袋を選んでください。どんな本が入っているかは、開けてのお楽しみ!中に「福」が入っていると、ちょっとしたプレゼントがあります。

※数量限定。なくなり次第終了となります。



●文化情報センターに関する情報は、ホームページやSNSで確認できます。



ホームページ



Facebook



Instagram

お問い合わせ：恩納村文化情報センター ☎982-5432

観葉鉢物の寄贈

11月17日、JAおきなわ恩納支店の観葉生産部会が役場を訪れ、日頃の支援のお礼と、拠点産地として広くPRする為、観葉鉢物贈呈式が行われました。部会を代表して仲松部会長より立派な鉢物が寄贈されました。寄贈された鉢物は役場庁舎内に飾っています。

また、日頃の取り組みが認められ観葉生産部会は沖縄県農林水産部長から、会員の登川良雄さんは沖縄県知事から表彰されました。



「サンゴの村宣言」SDGsプロジェクト

Green Fins(グリーンフィンズ)とは、サンゴや自然環境にやさしいダイビングやシュノーケリングの国際的なルールです。みなさんも一緒に取り組んでいきましょう!

Green Fins ガイドライン なぜ魚の餌付けをしてはいけないのでしょうか?



①魚が敵に狙われやすくなる

餌を与えられた魚は、ダイバーやシュノーケラーに近づこうと、自分のなわばりや巣を離れてしまい、敵に狙われやすくなります。

また、通常は単独で行動している種類の生物が集団で餌を食べるという不自然な行動をとるようになり、巣がより狙われやすくなります。

②サンゴのダメージにつながる

普段、藻類を食べている魚が、人間が与える餌を食べるようになり、サンゴについた藻類がどんどん育ち、表面が藻に覆われてサンゴが窒息死してしまいます。

通常、魚は藻類を食べるときにオニヒトデのような生き物の卵も食べています。餌付けによってこうした行動がなくなり、サンゴを食べる敵の数が増え、サンゴ礁へのダメージがより大きくなります。

③海洋生物の餓死につながる

ほとんどの海洋生物は、特定の食べ物を食べ、消化を助ける特定の細菌を持っています。合わない食べ物を与えられると、ふだん食べているものに合わない種類の細菌が胃の中に広がり、自然の食べ物を消化できなくなり、餓死してしまう可能性があります。

お問い合わせ：恩納村SDGs推進事務局(企画課内) ☎ 966-1201
sunna.sdgs@gmail.com

いい夫婦の日スペシャル「オブジェお披露目セレモニー～あいさけ2020～」

恩納村リゾートウェディング活性化協議会は11月22日、海浜公園ナビビーチにおいて、リゾートウェディングや記念日の撮影に利用できるオブジェ2作品をお披露目しました。

また、おんなの駅なかゆくい市場で商品開発された、ウェルカムドリンクやプチギフトのお披露目も行いました。

オブジェは、美術作家の翁長瞳さんが制作した「祝福の鐘」と中島聖二さんが制作した「Nabi Swing」。



恩納村スポーツ推進委員を紹介します!

スポーツ推進委員とは、スポーツ基本法並びに恩納村スポーツ推進委員に関する規則に基づき教育委員会から委嘱される非常勤職員であり、本村スポーツ行政を推進する者として各種スポーツの振興と普及活動の支援等、重要な役割を担います。

スポーツ推進委員の任期は2年で、本村では各区から推薦された20代から70代の15名の方が委嘱されています。

スポーツ推進委員が主管又は共催する主な事業

- ・スポーツ教室
- ・少年野球大会
- ・壮年バレーボール大会
- ・壮年ソフトボール大会
- ・各区対抗陸上競技大会
- ・小学生駅伝競走大会
- ・健康福祉まつりウォーキングフェスタ
- ・小学生陸上記録会
- ・その他軽スポーツ大会

委員紹介



宮城 幸子
(名嘉真)



與儀 紋佳
(喜瀬武原)



當山 司
(安富祖)



當山 富芳
(瀬良垣)



津波古 光由
(太田)



会長 新里 勝久
(恩納)



津嘉山 朝亮
(南恩納)



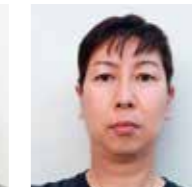
富田 康介
(谷茶)



富着 竜一
(富着)



平安名 盛和
(前兼久)



島袋 寛己
(仲泊)



糸数 規秀
(山田)



副会長 安富祖 愛子
(真栄田)



伊波 卓次
(塩屋)



饒波 武周
(宇加地)

お問い合わせ
教育委員会 社会教育課
☎ 966-1210

宝くじ助成金で整備しました!

安富祖区は、一般財団法人自治総合センターが実施する「令和2年度一般コミュニティ助成事業」の助成を受けて、ステージ他コミュニティ活動備品を整備しました。

これにより、地域行事や伝統芸能、各種団体活動が円滑に行われ、更なる地域活性化が期待されます。



恩納村における戦災の状況 (その2)

前回に続き、今月号では、戦争によって甚大な被害を被った恩納村の復興、今もなおつづく基地問題、次世代への取り組みについて紹介します。

3. 沖縄戦終結と戦後の生活再建

生き残った住民は次の場所に収容された(カッコ内は集落)

羽地村田井等(※現在の名護市)Ⅱ(名嘉真の一部、瀬良垣、前兼久)

金武村(※現在の金武町)Ⅱ(中川(喜瀬武原の一部、富着の一部)

宜野座村(名嘉真、富着の一部、山田の一部)、

石川(※現在のうるま市)Ⅱ(安富祖、喜瀬武原の一部、瀬良垣、太田、恩納、南恩納、

谷茶、仲泊、山田、真栄田、塩屋、宇加地)

収容された住民は米軍の配給を得ながら、命をつないでいた。一方で避難中の食糧不足による栄養失調や罹患したマラリアなどの病気の悪化、避難中の負傷の悪化などによって収容所で命を落とす住民もいた。

1945年10月、米軍の帰村準備命令によって、石川で恩納村代表者会議が行われ、村先遣隊が結成された。11月には先遣隊の仮事務所が南恩納の焼け残った民家に設置され、復興へ向けて動きはじめた。一方、集落で独自に帰村を開始したところもあった。家は焼かれ、田畑は荒れ、飼育していた家畜もいなくなり、復興は容易ではなかった。帰村当初は各集落とも幕舎に身を寄せ、米軍の配給物資をもらいながら、集団生活を余儀なくされた。しかし、建築班、農耕班に分かれ住民が共同で再建に取り組み、早い地域では4か月後から各戸での家庭生活を再開することができた。

理層内の汚泥などの有毒物質が流出口付近から検出された。米軍側は日米地位協定第4条の返還した土地の原状回復の義務を負わない規定を盾に、返還後に発見された問題として引き取りを拒否した。村内自衛隊基地で保管した後、返還から約18年後の2013年、日本の民間業者によって320トンに及ぶ汚泥は全面処理された。

恩納村には現在キャンプ・ハンセンの他、嘉手納弾薬庫地区があり、村面積の米軍基地が占める割合は29・2%である。自衛隊基地を含めると29・8%となる。

5. 次世代への継承

(1) 慰霊の取り組み

現在恩納村内には10基の慰霊塔が建立されている。慰霊塔のある行政区では慰霊の日(6月23日)に自治会主催で遺族、区民参加の慰霊祭が行われる。恩納村の慰霊之塔では村主催で慰霊祭が行われ、村遺族会、各区の代表、関係者が参加している。

安富祖子ども会では第二護郷隊之碑、第四十四飛行場大隊之碑がある敷地を慰霊の日

の会(第二護郷隊の戦友会)、屋良ノ友ノ会(第四十四飛行場大隊戦友会)は解散し、慰霊祭は行われていないが、遺族の参拝は引き続き行われ、うるま市の地蔵院によって祭壇が設けられている。

(2) 平和学習

村内には自然洞窟であるガマ、住民避難壕、日本軍が建設した陣地、トーチカや護郷隊が破壊した橋などの戦争遺跡が残されている。それらの戦争遺跡や慰霊碑を回り、恩納村の戦争を知り、考える平和学習が行われている。2019年には安富祖中学校1年1組

<恩納村内の慰霊塔>

場所	建立者
宇魂の塔	宇加地自治会
さざなみの塔	塩屋自治会
眞魂の塔	真栄田自治会
慰霊塔	山田自治会
仲魂の塔	仲泊自治会
慰霊塔	前兼久自治会
慰霊之塔	富着自治会
慰霊之塔	恩納村
第二護郷隊之碑	郷護の会
第四十四飛行場大隊之碑	屋良ノ友ノ会

米軍施設の建設、道路整備などで帰村が遅れた地域もあった。フェンスで仕切られ、外との往来にも制限がある海側のテントで、道路越しに自分たちの集落をみながら、1年以上生活を続けた住民もいた。

2. 復興への歩み

密林だった恩納岳は戦時中、避難してきた住民を守りながら多くの命を救い、戦後の混乱期には復興のための資材、燃料として薪を取る場所だった。石油コンロが普及し、山が元の姿を取り戻そうとする50年代に入ると米軍の演習がはじまり、恩納岳を中心とする村有地が軍用地に指定された。戦後の復興産業として恩納岳の麓の肥沃な土地に茶園が作られていたが、1960年2月の米軍演習による山火事で大きな被害を受け廃園となった。実弾砲撃演習、射撃訓練によってたびたび山火事が発生し、山の大半が焼失した。



米軍演習による山火事(2018年10月)

1966年10月には南恩納区の住宅の台所への流弾事件が発生し、恩納村主催の村民大会が開かれた。この事件までに40件余りの流弾事件が起きており、これ以上の事件発生を許さない嚴重な抗議のあらわれであった。しかし、その後も戦車砲や機銃弾など破片が民家に落下したり、走行中のタクシートの側面に機関銃弾が貫通するなど、事件、事故は尽きなかった。2017年4月には集落から400mほどしか離れていない安富祖ダム建設工事現場への流弾事件が起きている。

1988年には都市型ゲリラ訓練施設建設計画が明らかとなった。米陸軍特殊部隊グリーンベラーの戦闘訓練ができる施設で、住宅地から数百メートルが、既存建築物の解体の際に、汚水処

が戦時中の食事作り、戦争体験者へのインタビュー、慰霊碑前での平和の詩の群読、遺族会の方々への学習内容の発表など、一学期を通して学びを深め、沖縄県の第1回ちゅうちなー草の根平和貢献賞を受賞した。



安富祖中学校1年1組による平和の詩の群読

が増え、フィールドワークも行われている。第二護郷隊をテーマにしたドキュメンタリー映画「沖縄スパイ戦史」が2018年に公開、全国各地での上映、恩納村での自主上映会によって、恩納村の戦争、少年兵のゲリラ戦が広く知られるようになった。

毎年6月から7月には恩納村博物館で恩納村史編さん係、教育委員会文化係による慰霊の日特別展が開催され、村内外からの来館者も増えている。

(瀬戸)

参考文献・参考史料

- ◇字恩納自治会「写真集 道 写真で見る恩納区のあゆみ」2007年
- ◇恩納村「恩納村誌」1980年
- ◇恩納村「恩納村誌 第一巻 自然編」2014年
- ◇広報おんな 2016年・2018年
- ◇沖縄県「沖縄の米軍基地」2018年
- ◇沖縄県「米軍基地環境カルテ キャンプ・ハンセン」2017年
- ◇三上智恵「証言 沖縄スパイ戦史」2020年

さらに、海岸を少し北側に歩きながら観察していくと、黒色千枚岩に張り付くようになっている角閃石安山岩が見えてきます。児童の皆さんには岩石の違いを見たり、触ったり、写真を撮ったりしながら、観察してもらいましたが、職員からのクイズにも積極的に答えてくれたり、熱心に質問をしてくれたりと興味津々な様子でした。地質の学習は文字や写真のみだと実物を知ることは難しい面もありますが、自分たちが住んでいる身近な地域には、どのような地層があり、それがどのように形成されたのかを現地で見て、触れることで、その特徴を知ってもらえる機会になったのではないかと思います。

恩納村は他にも巨大サンゴの化石が入っている場所や、海岸のビーチロックといわれる岩石、津波石や海食洞といった様々な地層や地形などを見ることが出来る地域です。普段何気なく見ている景色も少し近寄って観察してみるといつもとは違う発見があるかもしれません。たまには野外観察に出かけてみるのもいかがでしょうか。(後藤・吉田)

恩納村の文化財 71

恩納村の水中文化遺産

～恩納村の海に眠る歴史のカケラ～展 開催中

恩納村の人々は自然豊かな海を昔から利用してきました。生業の一つとしての海との関わり、物流の手段としての航海・人々の移動の手段としても利用されてきました。その海域に沈んだ文化財に今回着目し、展示会を開催しています。平成 27 年度に『水中文化遺産～海に沈んだ歴史のカケラ～ミニ移動展 IN 恩納村博物館』を沖縄県立博物館と連携して開催し、今回の展示会では、水中文化遺産とは？から始まり、平成 27 年度以降に蓄積された調査研究の成果を公開するための展示会となっています。平成 30 年度から3箇年計画で琉球大学と佐賀大学、恩納村博物館の協働調査で得られた調査成果も展示し、谷茶沖では新発見の水中遺跡も確認されています。この機会に是非ご覧ください。(文化係 崎原)



期 間：令和2年11月21日(土)～令和3年2月7日(日)

会 場：恩納村博物館 2階企画展示室及びロビー

開館時間：午前9時～午後5時まで

休 館 日：毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始(12月28日～1月4日)

谷茶の炭焼窯群・住民避難壕群周辺での聞き取り調査

11月26日、谷茶の炭焼窯群・避難壕群周辺で村史編さんと文化係の合同で、戦時中にこの周辺で過ごしたことがある方の聞き取り調査を現地で行いました。山田久良波から谷茶に避難してきた方の戦時中の体験など、大変貴重な証言をしてくださいました。貴重な証言を基に分析と研究を進めています。(文化係 大城)



寄贈品の紹介

この度、仲泊出身の方より、博物館にビンシーを寄贈していただきましたのでご紹介いたします。

ビンシーとは神様へ祈願をするときに必要な1対のお酒入りの瓶、盃、線香などを入れておく携帯用の道具箱です。箱の蓋を取ればそのまま祈願することが出来るので、屋外の拝所などを回る際によく利用されます。

今回、寄贈していただいたものは寄贈者の実家で使われていたもので、昭和初期に手作りされたものとのことでした。祈願する際に使われていたそうですが、新しいものを使うようになったため、実家に保管されていたそうです。箱の中には1対のガラス瓶と盃代わりのグラスが納められていました。ガラス瓶の底にあった企業名から、瓶は古いものではなく途中で取り替えられているようです。

寄贈いただいた資料は今後の新収蔵品展などでお披露目したいと思っております。最後になりましたが、この場をお借りして寄贈者に感謝申し上げます。(後藤)



安富祖小学校6年生の校外学習の講師を務めました。

安富祖小学校より理科の学習の一環として、校外学習の講師依頼がありましたので、10月30日に6年生のみなさんと一緒に、村内にある地質観察スポットへ行きました。

野外見学の場合には、安全に見学が行えるかなどを確認するために、事前に打ち合わせや下見を行います。また、実際に児童たちが楽しみながら、観察したり、触れたりすることで学習内容の理解をより深められるような場所を選定することも重要です。今回も事前に担当の先生と一緒に数カ所の見学候補地の下見や、ルート確認などを行い、どんなことを学んでもらいたいかを打ち合わせしてから実施しました。

今回、安富祖小学校6年生の皆さんを実際に案内したのは「伊武部ビーチ」です。ここは名護層という沖縄本島北部に見られる地層が分布している地域ですが、マグマが冷えて固まった安山岩も一緒に見ることが出来るポイントです。観察地点までは海岸の岩場を登ったりして、少し探検気分も味わいながら、観察を始めました。海岸に下りると最初に名護層の中でも、黒色千枚岩と呼ばれる岩石が地表に顔を出しています。この一帯の地層は今から約5,600万～3,390万年前の時代のものだと言われていますが、地殻変動の影響で、地層が曲がりくねって変形した「褶曲」を観察できます。



令和3年度 恩納村会計年度任用職員を募集しています！

会計年度任用職員とは、年度内に勤務する一般の非常勤職員です。

業務内容、必要な資格等詳しくは村ホームページにてご確認ください。

お問い合わせ：総務課 ☎966-1200

マイナンバーカードの無料写真撮影・申請サポート始めました！

村民課1番窓口にて随時受け付けています！お気軽にお問い合わせください。

※本人確認書類をご提示ください。

お問い合わせ：

村民課 戸籍係 ☎966-1205

20歳になったら国民年金

◇国民年金加入のご案内

令和元年10月以降、20歳になった方には、日本年金機構から国民年金に第1号被保険者として加入したことをお知らせします。

※厚生年金に加入している方は除きます。また、第3号被保険者には該当する場合は配偶者の勤務先を経由しての届け出が必要です。

年金Q&A

Q 誰が加入するの？

A 日本に住む20歳以上60歳未満のすべての方に国民年金への加入が法律で義務付けられています。

Q 保険料はいくら？

A 国民年金第1号被保険者及び任意加入被保険者の1か月当たりの保険料は16,540円です。
※令和2年度

Q 給付の種類は？

A 公的年金制度には、老齢年金のほか、障害・死亡に対する保証もあるので、若いうちに事故などにあっても、これからの保障が受けられます。

令和3年 村県民税・国民健康保険税・介護保険料に関する申告受付について

お知らせ：令和3年度の申告は、コロナ禍での受付となると想定されるため、郵送での受付を推進させて頂きます。

また、新型コロナウイルス感染症が終息していない状況下の為、公民館での巡回申告受付は中止とし、役場のみで受付いたします。ご理解ご了承いただきますようお願いいたします。

<令和2年1月1日から令和2年12月31日までの収入及び支出経費等が申告対象となります>

申告書を提出しなくてもよい方！

- ①65歳以上の公的年金（障害・遺族年金除く）収入のみの方で、年金収入が148万円以下の方（控除を入れても入れなくても税金が課されないの申告不要です）また、公的年金のみの収入(400万円以下)かつ控除の追加等ない方
- ②昨年中に給与所得のみの方で、年末調整済みで勤務先から給与支払報告書（源泉徴収票）が市町村へ提出されている方
- ③所得税の確定申告書を税務署へ提出する方 ※①②について源泉徴収されている方は還付の可能性がありますのでご確認ください。

令和3年度 申告日程（変更点が多数あります！）

申告受付日程	開始	受付人数	受付対象地区及び対象年齢
8:50受付	9:00~12:00		
1	2月1日(月)	50名	名嘉真~安富祖区
2	2月2日(火)	50名	瀬良垣~恩納区
3	2月3日(水)	50名	南恩納~前兼久区
4	2月4日(木)	50名	仲泊~山田区
5	2月5日(金)	50名	真栄田~宇加地区
6	2月8日(月)	50名	喜瀬武原区
7	2月9日(火)	50名	名嘉真・希望ヶ丘
8	2月10日(水)	50名	安富祖区
9	2月12日(金)	50名	瀬良垣・太田区
10	2月15日(月)	50名	恩納区
11	2月16日(火)	50名	南恩納区
12	2月17日(水)	50名	谷茶・富着区
13	2月18日(木)	50名	前兼久区
14	2月19日(金)	50名	仲泊区
15	2月22日(月)	50名	山田区
16	2月24日(水)	50名	真栄田区
17	2月25日(木)	50名	塩屋区
18	2月26日(金)	50名	宇加地区
19	3月1日(月)	50名	喜瀬武原 校区
20	3月2日(火)	50名	安富祖 校区
21	3月3日(水)	50名	瀬良垣・太田・恩納区
22	3月4日(木)	50名	南恩納・谷茶区
23	3月5日(金)	50名	仲泊 校区
24	3月8日(月)	50名	山田 校区
25	3月9日(火)	50名	全域
26	3月10日(水)	50名	全域
27	3月11日(木)	50名	全域
28	3月12日(金)	50名	全域
29	3月15日(月)	50名	先週までに来庁した方の予備日
	計	1,450	

※自身の地区対象日での申告をお願いします！
※指定の対象地区の方が優先となります。
対象地区以外の日の受付者は最後尾もしくは定員に達した場合は後日の案内となります。

開催内容が変更となりますので確認をお願いします。
・申告会場は役場ロビーのみとなります。
・開催日は2/1からとなりますが、時短（午前中）となります。
・1日の人数制限があります(50名)。定員に達した場合は別日案内。

村民税・県民税の申告

この申告は、村・県民税や国税・介護保険料の税額決定や各種行政サービスに必要な所得要件等の確認や各種税証明書の交付にも必要なものです。申告がなされていない場合、各方面での申請手続きに支障をきたしますので、期限内に必ず申告をしてください。
※期限内になされない場合は6月7日以降の受付・処理となり、証明発行もその翌日以降になります。

事前のお願い

申告資料の作成は感染リスク低減のため、ご自宅で作成し、郵送での対応もできる準備をお願いいたします。
また、会場での申告受付については混雑緩和及び感染リスクの低減の為、お一人10分程度となりますので、あらかじめ自宅での作成をお願いします。作成していない場合は後日となる可能性もあります。ご協力お願い致します。

税務署での確定申告

土地・建物の売却、株式等の売却、雑損控除、分離配当、住宅ローン控除を受ける初年度の方、青色申告、消費税の申告がある方は、名護税務署の主催する申告会場で確定申告をしてください。
税務署から「確定申告のお知らせ」のハガキが届いた方も税務署にて確定申告を行ってください。
●スマホやパソコンからの電子申告(e-tax)での申告も可能ですのでご確認ください。
【管轄税務署】名護税務署
【期間・受付時間】コロナ禍の為最新の情報を確認して下さい。
【お問合せ】名護税務署 電話 0980-52-2920

< 郵送等による申告の受付 >

早めの郵送(2月中)にご協力ください。

- 申告書に必要事項を記載した書類を同封し、切手を貼って役場税務課宛に郵送もしくは窓口提出してください。
- 郵送が難しい場合：収入がゼロの方、年金のみの収入の方、自宅で申告書記入済みの方は各公民館へ預けての提出も調整いたしますので活用ください。

※記載内容や書類に不備等のある場合は、確認の電話やお呼び出しすることがあります。

- 農業・漁業・不動産等がある方は収支内訳書が必要となります。

(ご自身で作成が難しい方は、税理士への委託や青色申告会に作成指導を受けるなどご検討ください。)

添付資料は、1月末に届く申告書同封資料をご確認ください。申告書類の整理や控除申請に必要な証明書等の準備もお早めに！

郵送先

904-0492
恩納村字恩納2451番地
恩納村役場 税務課 御中
(申告書在中)

※内容が変更となる場合があります。ホームページ等で最新の情報をご確認ください。

※申告期間は、申告の対応や問い合わせが増えますので事前にお問い合わせください。 ☎966-1206

① 20歳の誕生日からおおむね2週間以内に「国民年金加入のお知らせ」が届きます。

●日本年金機構から次の書類が届きます。

- ・国民年金加入のお知らせ
- ・国民年金の加入と保険料のご案内（パンフレット）
- ・国民年金保険料納付書
- ・学生納付特例申請書
- ・国民年金保険料免除、納付猶予申請書
- ・返信用封筒

●保険料の納付方法等

納付書を使用して、金融機関、郵便局、コンビニエンスストア等の窓口で納めてください。^{※1}
その他、電子納付、口座振替やクレジットカード納付もあります。また、保険料の割引が受けられる前納（前払い）制度、付加保険料制度^{※2}があります。
詳しくは、名護年金事務所にお問い合わせください。

※1 保険料は20歳の誕生月分から納付が必要です。ただし、誕生日が1日の場合は誕生月からの納付となります。

※2 定額保険料の他に、月額400円を追加して納付できる保険料のことです。なお、付加保険料は申し出た月からの開始となりますので、誕生月からの納付を希望する場合はお早めにお申し出ください。

●大学、専門学生・・・ 学生納付特例制度の申請書を提出することもできます。

●経済的に保険料の納付が難しい・・・ 納付猶予制度や免除制度の申請書を提出することができます。

② ①とは別に年金手帳が届きます。

年金手帳は、保険料納付の確認や将来年金を受け取る際に必要になりますので、大切に保管していきましょう。

※20歳の誕生日から2週間程度経過しても「国民年金加入のお知らせ」「年金手帳」などが届かない場合は、村民課又は名護年金事務所でご加入手続きをしてください。

お問い合わせ：名護年金事務所 ☎0980-52-2522

村民課 年金係 ☎966-1205



ご芳志ありがとうございます。
恩納村社会福祉協議会への寄付者

一般寄付

- ルネッサンスリゾートオキナワ 様 4万円
- OIST職員 様 2万円

療養費給付申請のレセプト点検・審査を強化

令和3年1月から柔道整復・あん摩マッサージ・鍼灸のレセプト点検・審査業務を村と委託業者が共同で実施することになりました。

これからも適正な療養費給付を行ってまいりますので、村民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ 健康保険課 国保係 ☎966-1217

沖縄県雇用継続助成金事業をご活用ください！

沖縄県では、新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援として、事業主の負担を軽減し、雇用の維持を図るため、雇用調整助成金等の上乗せ助成を行っています。詳細は「沖縄県雇用継続助成金」で検索。

■ホームページ
http://goodjob-station.okinawa/

申請・お問い合わせ グッジョブ相談ステーション ☎941-2044

労働安全衛生法に基づく2月講習会のご案内

■フォークリフト運転技能講習

- 日時 【学科】
2月1日(月) 9:00~18:00
【実技】
2月2日(火)~5日(金) 8:30~17:30
- 会場 【学科】北部会館3階
【実技】ネオパークオキナワ
- 受講料 47,150円 ※テキスト代込み
定員 20名

※申込受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。

お問い合わせ (一社)沖縄県労働基準協会 北部支部 ☎0980-54-4700

国税庁からのお知らせ 

■タックスアンサーの利用方法

国税庁ホームページ「タックスアンサー」では、よくある税の質問に対する回答を調べることができます。

国税庁ホームページからご利用ください。
スマートフォンからは、右のQRコードからアクセスできます。



■電話相談センターのご案内

最寄りの税務署へ電話をおかけいただき、自動音声案内に従って、番号「1」を選択していただくと、「電話相談センター」につながりますので、ご利用ください。

なお、確定申告期におきましては、番号「0」を選択していただくと、「確定申告電話相談センター」につながりますので、こちらもご利用ください。



サラリーマンで確定申告が必要な方！

- ①給与の収入金額が2,000万円を超える方
- ②給与所得や退職所得以外の所得金額（収入から必要経費を控除した後の金額）の合計額が20万円を超える方
- ③2か所以上から給与の支払いを受けている方などは申告が必要です。

確定申告書の受付は
2/16(火)~3/15(月)

詳しくは **国税庁** で

放送大学入学生募集のお知らせ

放送大学は、2021年4月入学生を募集しています。

10代から90代の幅広い世代、約9万人の学生が、大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で学んでいます。

出願期間
第1回募集 11月16日(木)~2月28日(日)
第2回募集 3月1日(月)~3月16日(火)

※必着
●資料を無料で差し上げています。お気軽にご請求ください。

お問い合わせ 放送大学沖縄学習センター ☎895-5952

科学に関する楽しいプログラムを生放送及び録画でお届けします。小学生のお子様も楽しんでいただける内容です。

参加はこちらから 

https://www.oist.jp/ja/science-festival

●OIST では現在すべてのイベント・見学は停止中です。イベントの中止、延期措置の変更等についてはホームページにてお知らせいたします。

お問い合わせ 沖縄科学技術大学院大学 地域連携セクション ☎966-2084

科学に関する楽しいプログラムを生放送及び録画でお届けします。小学生のお子様も楽しんでいただける内容です。

- プログラム内容 (一部)
- 生放送**
 - ・サイエンスショー
 - ・なんでも相談室
 - 録画映像**
 - ・撮りおろし！キャンパスツアー
 - ・科学ビデオ

お問い合わせ 沖縄科学技術大学院大学 地域連携セクション ☎966-2084

今年度最後の集団健(検)診です！

子宮頸がん・乳がん検診のお知らせ

日にち 1月24日(日)
場所 総合保健福祉センター
受付時間 9:30~10:30
持参する物 受診券(ピンク色)

- 乳がん検診について
30~39歳：乳房超音波検査
40歳以上：マンモグラフィ検査
※乳がん検診は予約が必要です。健康保険課窓口または電話にてお申し込みください。

お問い合わせ 健康保険課 健康づくり ☎966-1217

集団健診のお知らせ

日にち・場所
2月7日(日) 総合保健福祉センター
受付時間 8:30~11:00

- ・受付時間は30分おきに、人数制限をしています。検診項目の予約と一緒にご連絡ください。
- ・健診の1週間前までに予約した方には、事前に検査キッドをお送りしています。後日提出する必要がなくなるので、まだ予約されていない方は、お早めに！

子育てサポーター養成講座

日程 2月9日(火)、10日(水)、18日(木)、19日(金)、25日(木)、26日(金)
場所 金武町総合保健福祉センター 2階会議室
定員 10名 ※定員に達し次第締め切ります。
受講料 無料
申込方法 電話又はFAX
申込締切 1月29日(金)16:00

●研修時間や内容については、ファミリーサポートセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ やんばる町村ファミリーサポートセンター TEL 0980-43-7551 FAX 0980-43-7554

全国一斉生活保護相談会

～あなたの生活は大丈夫？我慢しないで～
沖縄青年司法書士協議会と全国青年司法書士協議会では、生活保護に関する電話相談会を開催します。

日時 1月24日(日) 10:00~16:00
電話番号 0120-052-088(フリーダイヤル)

●相談料は無料、秘密は厳守します。

お問い合わせ 835-9101(担当:日比)

恩納村で働きたい！
恩納村で働こう！

合同就職説明会

1月27日（水） 恩納村コミュニティセンター

村内事業所が集結！ 一度に複数の村内事業所の話が聞けるチャンス！

- ★参加事業所や開催時間等については、随時村ホームページにてお知らせします。
- ★国・県・村のイベント等開催ガイドラインを遵守のもと開催いたします。マスクの着用等、感染予防対策にご協力ください。また、来場者多数の場合は入場制限を行うことがあります。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ：商工観光課 商工係 ☎966-1280

2月は村県民税第4期の納期となっています。

	第1期	第2期	第3期	第4期
固定資産税	6月1日	7月31日	12月25日	令和3年3月1日
村県民税	6月30日	8月31日	11月2日	令和3年2月1日
軽自動車税	6月1日			

納税は口座振替が便利です。
手続き方法につきましては、税務課までお問い合わせください。

お問い合わせ：
税務課 ☎966-1206



恩納村産業まつり開催中止のお知らせ

令和3年1月に予定していました「第23回恩納村産業まつり」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催の中止を決定いたしました。

11月18日に行った実行委員会において、開催に向けての議論を重ねましたが、来場者及び関係者の健康及び安全を最優先に考え、開催中止という判断に至りました。

毎年村産業まつりを楽しみにされている皆さまには、大変申し訳ございませんが、次回の村産業まつりをご期待ください。

【お問い合わせ】 恩納村産業まつり実行委員会 ☎ 966-1280 (商工観光課内)



広報おんな ONNA 1月[475号]
発行/恩納村

〒904-0492 沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地
電話 (098) 966-1200

人口と世帯 2020年11月末現在

男	5,587(- 8)	世帯数
女	5,427(+11)	5,382(+2)
計	11,014(+ 3)	

UD
FONT
by MORISAWA